



古今集遠鏡

四

特別
イ 4
3163
95(4)



貴
14
3/63
95(4)



古今和歌集卷第十一を鏡

恋秋一

詠一うらぐ

よみ人きうらぐ

郭のゆくやいつき此あや先を何やめもきくぬきもきく式

○上ドヤウナワケナ物ヤラマダシラズニワヤアムチヤナ意ヲスルカナ

素性法師

きふのときく此白あよるいあきてむるい思ひふ何いむらあべし

○きニキクバカリデの白あマダシタモナイ人ヲ思ウテ夜ハ子ラ

レ子バオキテ居テ昼ハ又意ニサニエコタヘイデ消サウニ思ル

紀考く



より世川忠信もくゆくあはれをやくど人をあひそめてし

○上 アノ人ヲオレヤトウカラサセソメタ 又オガアノ人ヲ思ウノハサイ

シヨカラモウ表世川ノ子胤ノヤウニヤルセモナウ思ウ

せきぞうゆつふ。いふまじのせの中あはれ
よむハありてあをうらむどのこころし。

藤原、後長

忠信のつやを好きかこあゆく船と風ぞよりのあはれをききあはれ

○浪ノ上ノ人ノトホツタ跡モナイ方ヘイク舟デモ 風ト云物ガサ 手ヨリノ案

内者チヤソヒニワシガ意ハソニテ風ノヤウナタヨリニセウ物サナイワイノ

飯材チヤアそとふらうー 例をよしてあるべー

左系、え方

善ぬ山おとあつつーつあ板乃冥好こねさーり年成ふくね

○善ぬ山ハ名板ノ冥ノコチラニアル山チヤガ 山ノ名ノトホリニコチラテ音

ニキ、ナガラ 冥ガアツテコエラレ子バコチラニチツトトツテ居ルヤウニ 名板ト

云名ノヤウニ思フニあつてモエセズコ 何年モタテルカナサテモ早ウをタイ

えうりつりもさぞ思ふよをめても人いんをあまつあつね

○げヤウニヨソニハレテ居テモ 心ハダウヂウカノ人ノ死ハバツカリイテ居レバ

つね信 又まもく アハレをタイヤトサアウ ちまいとこら

はるゆき

昔申ハかくアそり純ふく風乃めふん人もあーかりと

○ヨノ中ト云モノハマアカウシタフチヤワイ 一アツテ下サレ 三二ダ一目モ

足タノモナイ人モ けヤウニ急シイヂヤワイ

右近のいぬむねは せきりた日むくひりしむてしりき
糸車は下きぐれりり 女はうねのほのふんじりき
よみてつうりききき 糸糸のひりの糸
せきりといふ名を 神中抄の説のごくおぼべし。

足ども何れに 足をもぬ人乃 急しくいあやねくくやねめくひ

○足又デモナシ足タデモナイ人が けヤウニ急シイヂヤガコレデハ ワチモナイ
ニ今日ハ一日シニキニ急フテクラスデアラウカ

えー
よみ人きりば

とつとぬ何うあやねくくしていもせきひのいもききるべりりれ

○足タノ足ヌノトもテハ何ノイハウゴゾ ソレヤワチモナイゴヂヤ 急ト云

モノハ 急ヒバツカリコソハ イツジハアレルシレバナレ 急かノ急ハナニモト
ウコウト云フハナイワイナ

かまぐねまつりふおかまつりりるおふ物足おおくりきき
如のむやふあけくづりてはりりききき

みあのいさみよ

喜日世は 喜る世からておひおろききききききききききききききききき

○喜日世ノ喜ノアヒダカラハエデ、クル喜ノチツトガカリ足エソメタヤウニ
ハツクニチヨツト足エタハ方ワイノニア

人の花つじりききおまかりてそこねりりる人のむとふ

後およまきつうき。 つうゆき

心橋を渡乃まらさほのうふもえて一人アそあひかり

○心ノ橋ノ花ヲ渡ノアヒガカラスルヤウニ ウスクト足メ人がサミア
サテくゝあしイコガヤワイ

きりらび

せうか

しよふもあひらぬあひ乃わやいじんを人おつらぬり

○何ゾノタヨリニコソ物ハコトツテヤルモノナレ タヨリデモナイけワガ思ヒ
ノカハツタコトハけヤウニ思フ心ヲソノ人ニツケルノチヤワイ カウイフノハ

タヨリニ物ヲコトツケルト 心ヲ人ニツケルト云ト詞ガ同シチヤニヨツテサ
餌材ヲ海ノチヤウニ思フ心ヲソノ人ニツケルノチヤワイ

元何心躬怪

うし原はたつうふあはあしとるを中えおのち抱をありあ武

○ネヲ飛テイイク始メテノ原ノ声ヲツツヤウニ 人ノ声ヲハツクニチヨツト
ツツテカラ 心がヒタスラウテウテニナツテサテモく抱ヒラスルコトカナ

きりらび

あそふのあそふうふあはあしとるを中えおのち抱をありあ武

○コレホド急シウ思ウケレト ナカク急ハレサウチモヤウハまきイコトデ タクモノ
中デ唱ルカミナリノまきイキヲヨソカラツヤウニ 考ニハツカリサテ月日ヲタ

テルコトカナ

よみむらび

死ハスト云テモ 吾輩川ノヤウニ暮ニタテ、人ニハシラヒマイヅ

〜ゆぎつせれ申おも後をとりてふをねど、吾輩乃濁瀬をさき、

○山川ハ早イ物ナド ソレモそるニハ濁ガアツテヨドム取モアルト云フヤニ

ワレガ急ハナゼニ濁チヤ瀬チヤト云ワカチモナシニ イツモ子瀬ヤウナフゾイ

心も下ゆくあはれあふのこ流れてこひせこひはぬらこ

○山がさサニ上ノ方ヲバイカズニトノ谷バツカリ流レルもノトホリニワシモ

タトヒ付^{フシ}デコヒジニ、死スルト云テモ ^{あがれて}ウハベ、アラハハスマイヅ イツニテモ

心ノ内デバツカリ思ウテ居ヨウヅ

思ひ出るときは山のいもつ〜いもゆがそつとさき地を

○の山の ^三口ヘダヒテイハヌテコソアレ ^四ヒダシタ時ニソバク急イ物ヲ

人々道は思へむら〜とさあめあつむ花乃をふひがやたむ

○人ニシラサズニ心ノ内デバツカリ思ウテ居レバキツウジユツナイ ^五ユレハドウモ

タニラヌホドニ ^三四 イツソウチダレテケウ

秋乃ゆきれ 尾花ふま〜と咲むのつゆもや急むあふ〜とさみ

○ヒヤウニ心ノウチデバツカリ思フテ居テハ ^五トテモドウレテモカウレテモ 逢ハレ

サウナモヤウガナサニ ^上レアニテスレバ ^四イツソウチダレテカ、ラウカイ

上句折々の説よろ〜

こがその梅のほつえふ掌は縁〜おきぬべき急もさるかあ

○アレコチノ急ノ梅ノ木ノ急イ枝デ掌ガナクガ ^五ワシモアノヤウニ声ヲア

ゲテナキモセウヤウニ急レルホド急ラマスル ^六アラヒモナイ、カナ

○イヤサコレい松多クソヤウニトガメテ下サルナイ ワレハ大キナ舟ノ浪ニユラレヤウニ

抱おヒテウカラクトニテ居ルセツヂヤ スレヤアチナあチナあツキニエエルハズヂヤ

いせの海より釣まるあるけりもおぼやむむしつをいづめめつる

○意ヲスルワガ心ハ イセノ海デ獵師ノ釣ヲスルウケヂヤカレテ フハラク

トウカレテ レツメウト思フテモドウモレツメラレヌ 釣ノウケト云モノハ

辰ニユラレテフハラクトウキアルク抱ヂヤガ 心ガテウドソヤウニサ

いせの海乃りつるけつとねをうちへりてそのやあひほりむ

○一二 意ユニ長イ月日ヲケヤウニジュツナイヤトツカリ思フテテアルテアラウカ

ム秋云わりのつりまはうちをへりてつとつきまハいしとくも

き繩小釣の枝糸波あまきとほりて海の中へまくりうちをへりて

その繩をくりよせつぎてくね釣をくひゆる魚をよとるをぞつり
こまこ今昔ふらさ波がけり釣といふハ古繩の釣といふを託
まてておろしつりてハねがまをともつりけきちちをへてくると
つとよのつりの釣をへりねりぬるも

浅川をふみまき波しづねるむ物思ふ時乃り日が身なりりり

○浅川ト云川ノミナカミハトコヂヤカトナせ思フタツヤラ 浅川ノミナカミハト

コテモナイ 抱ヲ思フ時ノケワガ身ヂヤワイ ハテ後ハ身カラカルハサテ

ゆねしつるまは思ふもねをわひふらと意をいこひバあつらうと意ヤハ

○父子ガアバ岩ヘモ松ハエルワイ スレヤナボおあニクイ意チヤト云テモ

ゆに骨ヲ折サヘシチラ 意レヌト云ツガアガイ ドコゾテハアレヌト云ツハアルイ

つとねく〜川に寄れぬふの〜うにて思ひ乃ある世なりなり

○毎朝夕川ノ旁ノ中ニウイテアルヤウニ イツモ^ツ為^カ付又思ヒノアル世チヤウイ

〜〜〜時〜ね〜〜バ〜〜〜づの思ひを〜して縁をの〜ぞねく

○ワスレラレル時ガナケレバ 三 イロ〜ト思ウテ泣テバツカリサ居ルワレヤ

か〜衣も夕ぐさにあらざるハ〜さ〜〜ぞ〜人〜思ひ〜〜き

○一 思と 毎日ユフカタニナレバカス〜モサカノ人が急レイ

よひ〜小松さ〜ぞ急〜〜と色ね〜し〜う〜縁〜〜取〜〜思ふ〜〜く〜む

○イツヤ急レイ人ヲ急ニ思タ〜ガアツメガ〜〜〜ハドチラ松ニドウヒテ寝タ時テ

アツメヤラ 思ヒガレテ思レド思エヌ ソレテゴロモ 每晚〜ドウツ又急ニ思ヤ

ウト思ヘド ドチラ松ガヨカラウヤラ定メウヤウガナイ

飯材ヲ肉共小上乃乃後〜〜〜りよ〜上下の御を味ひて〜る〜

急〜〜小命^イ御^ウ〜〜ものな〜〜バ急^ハふ^ハや^キ〜〜ぞ〜つ〜〜べ〜〜り〜る

○命ヲ急ニサノクルレイノニカヘテ死ナル物ナラ 死スルハヤスイ〜デサアラウト

思ハレルワイ けクルレイメヲセウヨリ死^ニガガハルカニシヤ

人乃身も形〜〜つ〜おを何〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○人ノ身ト云物モナデモナラハレカラナモノチヤニ 急^レイ人ニアズニ居テモ

ソレガナラハレニサツテ〜〜〜居ラレモノカ 又ソレハコタヘ^五レイテ死ヌル物

カ^ドトヤ^急〜〜〜ニ居テメレテ思ヤウツ

急の急バ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○思フヲ急ニテ居ルハサテモ〜〜〜苦ニニ けヤウニ人ニシラズニ心^五デガカリ思ウト云

夢はくちふあきんむし海に流るつらきよしむ縁むくも海

○世メテハドウゾ羨ノウチニ多ハウト思フテ ヒルノ内カラソレヲ頼ミニシテ善シ

夕夜ハ ドチ控ニドウ寝タナラ羨ニ思ラレウツ ドウ寝タ物デアラウツト

心ガヨウテ ドウモ寝^子極^{ヤウ}ガナイ 飯材^キ亦^キ其^キ法^キヲを解^キえむ。

上^キる^キい^キふ^キ縁^キハ^キあ^キる^キ夢^キふ^キる^キと^キあ^キる^キと^キ合^キて^キ心^キは^キべ^キし。

くひあひくさるもぞねししうもむれはあはきかしくふ夢ふんつ

○コレハア^キ急^キテ死^キニ^キデ^キシ^キヘト云^キフ^キサウナ ナ^キナ^キカ^キニ^キあ^キハ^キヨ^キヒト^キヨ^キ夢^キニ^キ思^キエ

テ^キ急^キヲ^キサ^キセ^キテ ソ^キレ^キテ^キホ^キン^キニ^キハ^キ子^キカ^キラ^キア^キハ^キレ^キイ^キデ^キサ

海川まら流るるにぬるハ夢もさうふんむぞむらゐる

○海^キガ^キ川^キノ^キヤ^キウ^キデ^キ流^キレ^キテ 川^キ舟^キノ^キ中^キデ^キ浮^キテ^キ寝^キル^キヤ^キウ^キナ ^{ウキチ}カ^キウ^キイ^キフ^キ浮^キ寝^キテ

ハ^キア^キル^キ後^キモ^キハ^キツ^キキ^キリ^キト^キハ^キサ^キ尼^キエ^キヌ^キワ^キイ^キノ

急きればあまハ親とねりふるとさりそ人よりそいぬものゆゑ

○急^キヲ^キス^キレ^キバ^キワ^キレ^キガ^キ身^キハ^キヤ^キウ^キニ^キヤ^キセ^キテ 親^キノ^キヤ^キウ^キニ^キツ^キタ^キワ^キイ ^{ウキチ}サ^キウ^キカ^キト^キ云^キテ^キ思

ウ^キ人^キニ^キ依^キヒ^キモ^キセ^キヌ^キモノ^キ、^{ものゆゑ}ク^キセ^キニ^キサ 親^キナ^キラ^キ人^キニ^キソ^キヒ^キソ^キナ^キモノ^キチ^キヤ^キニ

かざり火いっしぬるが身はねるもかく海の川ふうれてあむむ

○精^キ餉^キ舟^キノ^キカ^キリ^キ火^キコ^キソ^キ川^キニ^キ浮^キテ^キモ^キエ^キル^キ物^キナ^キレ ^{ものゆゑ}カ^キリ^キ火^キデ^キモ^キナ^キイ^キワ^キレ^キガ^キ身^キノ

たせニア^キけ^キヤ^キウ^キニ^キ海^キノ^キ川^キニ^キウ^キイ^キテ 胸^キニ^キ思^キヒ^キノ^キ火^キガ^キモ^キエ^キル^キヤ^キラ

うら火乃親とねる身はらびきハ流して下にあむねりる

○川^キヲ^キ流^キヒ^キテ^キク^キダ^キル^キ精^キ餉^キ舟^キノ^キカ^キリ^キ火^キノ^キ移^キツ^キタ^キ親^キハ ^{ものゆゑ}水^キノ^キ下^キデ^キモ^キエ^キル^キガ^キワ^キレ^キモ

テ^キウ^キド^キソ^キニ^キナ^キモノ^キデ 急^キニ^キヤ^キツ^キテ^キ親^キノ^キヤ^キウ^キニ^キツ^キタ^キ身^キノ^キツ^キライ^キ雞^キ義^キナ^キコ^キト^キハ

長イ月日ヲ心ノ内デバツカリモフテム子ノモエルノチヤワイ

早泥瀬^四ーみるめおしをバ^五家神の海乃川^六あう急^七あ^八ーものさ

○ミルメト云モノハ海ノ中ヘハエル物チヤガソレガ若^九川ノ子イ^十瀬ヘハエテソダツ

ナラワレガ袖ノ海ノ川ヘウエウモノヲ^{十一}ナセニナレヤ^{十二}ワレガ海ハ早イ^{十三}瀬ノ

ヤウニ流レルソシテ急^{十四}イ人ニ急^{十五}フ^{十六}ヲミルメト云ニヨツテサ

おき^{十七}へ^{十八}も^{十九}と^{二十}よ^{二十一}ら^{二十二}ぬ^{二十三}あ^{二十四}も^{二十五}は^{二十六}浪^{二十七}の^{二十八}う^{二十九}へ^{三十}あ^{三十一}み^{三十二}ま^{三十三}て^{三十四}の^{三十五}そ^{三十六}や^{三十七}急^{三十八}は^{三十九}あ^{四十}る^{四十一}む

○ワレガ急^{四十二}ハ沖ノ方ヘモ^{四十三}磯^{四十四}バタヘモ^{四十五}ヨラズニ^{四十六}浪ノ上^{四十七}デミ^{四十八}ダレテアル^{四十九}サ藻ノヤ

ウニ^{五十}ド^{五十一}チラヘモ^{五十二}ツカズニ^{五十三}心ガ乱レテ^{五十四}イツ^{五十五}デモ^{五十六}けヤウニ^{五十七}急^{五十八}イ^{五十九}クト^{六十}モフテ

バツカリ月日ヲタテテアラウカ

あ^{六十一}ー^{六十二}が^{六十三}と^{六十四}は^{六十五}さ^{六十六}ら^{六十七}ら^{六十八}ぐ^{六十九}入^{七十}海^{七十一}乃^{七十二}き^{七十三}ら^{七十四}浪^{七十五}の^{七十六}あ^{七十七}ら^{七十八}ば^{七十九}や^{八十}ん^{八十一}を^{八十二}かく^{八十三}あ^{八十四}ひ^{八十五}き^{八十六}と^{八十七}ハ

○上^{八十八}人ヲ今^{八十九}けヤウニ急^{九十}シウ^{九十一}ウ^{九十二}ウ^{九十三}トハ^{九十四}急^{九十五}モヨラヌ^{九十六}トヨ

人^{九十七}ー^{九十八}き^{九十九}ぬ^{一百}あ^{一百零一}も^{一百零二}ひ^{一百零三}を^{一百零四}あ^{一百零五}ら^{一百零六}ら^{一百零七}ら^{一百零八}ら^{一百零九}ら^{一百一十}ら^{一百一十一}ら^{一百一十二}ら^{一百一十三}ら^{一百一十四}ら^{一百一十五}ら^{一百一十六}ら^{一百一十七}ら^{一百一十八}ら^{一百一十九}ら^{一百二十}ら^{一百二十一}ら^{一百二十二}ら^{一百二十三}ら^{一百二十四}ら^{一百二十五}ら^{一百二十六}ら^{一百二十七}ら^{一百二十八}ら^{一百二十九}ら^{一百三十}ら^{一百三十一}ら^{一百三十二}ら^{一百三十三}ら^{一百三十四}ら^{一百三十五}ら^{一百三十六}ら^{一百三十七}ら^{一百三十八}ら^{一百三十九}ら^{一百四十}ら^{一百四十一}ら^{一百四十二}ら^{一百四十三}ら^{一百四十四}ら^{一百四十五}ら^{一百四十六}ら^{一百四十七}ら^{一百四十八}ら^{一百四十九}ら^{一百五十}ら^{一百五十一}ら^{一百五十二}ら^{一百五十三}ら^{一百五十四}ら^{一百五十五}ら^{一百五十六}ら^{一百五十七}ら^{一百五十八}ら^{一百五十九}ら^{一百六十}ら^{一百六十一}ら^{一百六十二}ら^{一百六十三}ら^{一百六十四}ら^{一百六十五}ら^{一百六十六}ら^{一百六十七}ら^{一百六十八}ら^{一百六十九}ら^{一百七十}ら^{一百七十一}ら^{一百七十二}ら^{一百七十三}ら^{一百七十四}ら^{一百七十五}ら^{一百七十六}ら^{一百七十七}ら^{一百七十八}ら^{一百七十九}ら^{一百八十}ら^{一百八十一}ら^{一百八十二}ら^{一百八十三}ら^{一百八十四}ら^{一百八十五}ら^{一百八十六}ら^{一百八十七}ら^{一百八十八}ら^{一百八十九}ら^{一百九十}ら^{一百九十一}ら^{一百九十二}ら^{一百九十三}ら^{一百九十四}ら^{一百九十五}ら^{一百九十六}ら^{一百九十七}ら^{一百九十八}ら^{一百九十九}ら^{二百}ら

○常住人ニシラサヌ^{二百零一}モヒラ^{二百零二}スルワレガ身ハ^{二百零三}外ニハナイ^{二百零四}後^{二百零五}河ノ^{二百零六}富士ノ^{二百零七}山ガサ

ワレガ才^{二百零八}チヤワイ^{二百零九}ナセト云ニ^{二百一十}富士ノ^{二百一十一}山モ^{二百一十二}火ハ^{二百一十三}モエズニ^{二百一十四}常住^{二百一十五}煙ガ^{二百一十六}立テ^{二百一十七}モエル^{二百一十八}ハサテ

さ^{二百一十九}ぶ^{二百二十}き^{二百二十一}た^{二百二十二}ら^{二百二十三}あ^{二百二十四}も^{二百二十五}ゆ^{二百二十六}め^{二百二十七}し^{二百二十八}ぬ^{二百二十九}お^{二百三十}く^{二百三十一}あ^{二百三十二}ら^{二百三十三}ふ^{二百三十四}ら^{二百三十五}き^{二百三十六}ら^{二百三十七}ら^{二百三十八}ら^{二百三十九}ら^{二百四十}ら^{二百四十一}ら^{二百四十二}ら^{二百四十三}ら^{二百四十四}ら^{二百四十五}ら^{二百四十六}ら^{二百四十七}ら^{二百四十八}ら^{二百四十九}ら^{二百五十}ら^{二百五十一}ら^{二百五十二}ら^{二百五十三}ら^{二百五十四}ら^{二百五十五}ら^{二百五十六}ら^{二百五十七}ら^{二百五十八}ら^{二百五十九}ら^{二百六十}ら^{二百六十一}ら^{二百六十二}ら^{二百六十三}ら^{二百六十四}ら^{二百六十五}ら^{二百六十六}ら^{二百六十七}ら^{二百六十八}ら^{二百六十九}ら^{二百七十}ら^{二百七十一}ら^{二百七十二}ら^{二百七十三}ら^{二百七十四}ら^{二百七十五}ら^{二百七十六}ら^{二百七十七}ら^{二百七十八}ら^{二百七十九}ら^{二百八十}ら^{二百八十一}ら^{二百八十二}ら^{二百八十三}ら^{二百八十四}ら^{二百八十五}ら^{二百八十六}ら^{二百八十七}ら^{二百八十八}ら^{二百八十九}ら^{二百九十}ら^{二百九十一}ら^{二百九十二}ら^{二百九十三}ら^{二百九十四}ら^{二百九十五}ら^{二百九十六}ら^{二百九十七}ら^{二百九十八}ら^{二百九十九}ら^{三百}ら

○イカウ^{三百零一}係イ^{三百零二}オク^{三百零三}山^{三百零四}デハ^{三百零五}鳥ノ^{三百零六}声モ^{三百零七}セヌ^{三百零八}モノ^{三百零九}チヤガ^{三百一十}ソノ^{三百一十一}クラ^{三百一十二}井ノ^{三百一十三}奥^{三百一十四}山^{三百一十五}ホド^{三百一十六}深

イ^{三百一十七}け^{三百一十八}ワレガ^{三百一十九}心ヲ^{三百二十}急^{三百二十一}フ人^{三百二十二}ハ^{三百二十三}サウ^{三百二十四}トハ^{三百二十五}シラヌ^{三百二十六}サウナガ^{三百二十七}ドウ^{三百二十八}ゾ^{三百二十九}知^{三百三十}テ^{三百三十一}クレ^{三百三十二}カシ

あ^{三百三十三}あ^{三百三十四}坂^{三百三十五}の^{三百三十六}ゆ^{三百三十七}あ^{三百三十八}つ^{三百三十九}ま^{三百四十}も^{三百四十一}と^{三百四十二}ま^{三百四十三}が^{三百四十四}ご^{三百四十五}う^{三百四十六}人^{三百四十七}や^{三百四十八}あ^{三百四十九}ら^{三百五十}ま^{三百五十一}ま^{三百五十二}の^{三百五十三}ま^{三百五十四}ら^{三百五十五}ら^{三百五十六}ら^{三百五十七}ら^{三百五十八}ら^{三百五十九}ら^{三百六十}ら^{三百六十一}ら^{三百六十二}ら^{三百六十三}ら^{三百六十四}ら^{三百六十五}ら^{三百六十六}ら^{三百六十七}ら^{三百六十八}ら^{三百六十九}ら^{三百七十}ら^{三百七十一}ら^{三百七十二}ら^{三百七十三}ら^{三百七十四}ら^{三百七十五}ら^{三百七十六}ら^{三百七十七}ら^{三百七十八}ら^{三百七十九}ら^{三百八十}ら^{三百八十一}ら^{三百八十二}ら^{三百八十三}ら^{三百八十四}ら^{三百八十五}ら^{三百八十六}ら^{三百八十七}ら^{三百八十八}ら^{三百八十九}ら^{三百九十}ら^{三百九十一}ら^{三百九十二}ら^{三百九十三}ら^{三百九十四}ら^{三百九十五}ら^{三百九十六}ら^{三百九十七}ら^{三百九十八}ら^{三百九十九}ら^{四百}ら

○相^{四百零一}坂^{四百零二}ニ^{四百零三}ハ^{四百零四}ナ^{四百零五}レ^{四百零六}テ^{四百零七}アル^{四百零八}ア^{四百零九}ノ^{四百一十}お^{四百一十一}お^{四百一十二}お^{四百一十三}お^{四百一十四}お^{四百一十五}お^{四百一十六}お^{四百一十七}お^{四百一十八}お^{四百一十九}お^{四百二十}お^{四百二十一}お^{四百二十二}お^{四百二十三}お^{四百二十四}お^{四百二十五}お^{四百二十六}お^{四百二十七}お^{四百二十八}お^{四百二十九}お^{四百三十}お^{四百三十一}お^{四百三十二}お^{四百三十三}お^{四百三十四}お^{四百三十五}お^{四百三十六}お^{四百三十七}お^{四百三十八}お^{四百三十九}お^{四百四十}お^{四百四十一}お^{四百四十二}お^{四百四十三}お^{四百四十四}お^{四百四十五}お^{四百四十六}お^{四百四十七}お^{四百四十八}お^{四百四十九}お^{四百五十}お^{四百五十一}お^{四百五十二}お^{四百五十三}お^{四百五十四}お^{四百五十五}お^{四百五十六}お^{四百五十七}お^{四百五十八}お^{四百五十九}お^{四百六十}お^{四百六十一}お^{四百六十二}お^{四百六十三}お^{四百六十四}お^{四百六十五}お^{四百六十六}お^{四百六十七}お^{四百六十八}お^{四百六十九}お^{四百七十}お^{四百七十一}お^{四百七十二}お^{四百七十三}お^{四百七十四}お^{四百七十五}お^{四百七十六}お^{四百七十七}お^{四百七十八}お^{四百七十九}お^{四百八十}お^{四百八十一}お^{四百八十二}お^{四百八十三}お^{四百八十四}お^{四百八十五}お^{四百八十六}お^{四百八十七}お^{四百八十八}お^{四百八十九}お^{四百九十}お^{四百九十一}お^{四百九十二}お^{四百九十三}お^{四百九十四}お^{四百九十五}お^{四百九十六}お^{四百九十七}お^{四百九十八}お^{四百九十九}お^{五百}お

ヤウニ^{五百零一}声ヲ^{五百零二}ア^{五百零三}ゲ^{五百零四}テ^{五百零五}ヒ^{五百零六}タ^{五百零七}ス^{五百零八}ラ^{五百零九}鳴^{五百一十}打^{五百一十一}ち^{五百一十二}あ^{五百一十三}ゆ^{五百一十四}あ^{五百一十五}つ^{五百一十六}け^{五百一十七}る^{五百一十八}の^{五百一十九}説^{五百二十}り^{五百二十一}あ^{五百二十二}ー

ノタメニ此ヤウニ 三 アラハサズニハツカリヨテ居ヤウソ

あまの雲はくちの雲を ^{おほ}かたてふくくづけつゝいづれ地居ひのさききつゝあ

○使者ノタマルカト見レバ ^{くま}エタラズニクダケテ消ルヤウニ オレハ心ガクダケテ
ハゴロハサテク物思ヒノシケイコカナ

おく心乃まがの根志のぎぬる吾はまぬとついなむ志のさききつゝあ

○ハヤウニ思ヒガシゲウテハ 上 ワレハモウキエル死ヌルト云

テヤラウカイ

古今和歌集卷第十二を境

巻十二

歌一の巻

小野小町

おもひつゝぬき ^ミヤ人の心つゝむきとちりさばはれさききつゝあ

○おちく ^ミ寐ルユエニヤラ ^ミ思イ人がまニ思エタ ^ミま時ニまヤト知ツタ

ナラササズニオカウデアツタモノヲ ヲレイコラシテサシテシテノケタ

くく ^ミ寐ふ ^ミ思く ^ミき ^ミん ^ミを ^ミん ^ミて ^ミら ^ミる ^ミま ^ミと ^ミま ^ミて ^ミあ ^ミれ ^ミを ^ミね ^ミく ^ミそ ^ミの ^ミて ^ミに

○イツヤウタ ^ミ子 ^ミレ ^ミタ ^ミ時 ^ミニ ^ミ思 ^ミイ ^ミ人 ^ミヲ ^ミま ^ミニ ^ミ思 ^ミテ ^ミカラ ^ミま ^ミト ^ミ云 ^ミモノ ^ミハ ^ミヨ ^ミイ ^ミ物

チヤト ^ミ思 ^ミヒ ^ミメ ^ミテ ^ミソ ^ミカ ^ミラ ^ミ又 ^ミ思 ^ミヤ ^ミウ ^ミ又 ^ミ思 ^ミヤ ^ミウ ^ミト ^ミ思 ^ミウ ^ミテ ^ミま ^ミヲ ^ミね ^ミニ ^ミシ ^ミテ ^ミ居 ^ミル

い ^ミを ^ミせ ^ミて ^ミ思 ^ミく ^ミま ^ミは ^ミる ^ミを ^ミお ^ミち ^ミよ ^ミる ^ミの ^ミ衣 ^ミを ^ミか ^ミへ ^ミて ^ミま ^ミき ^ミ家

説書一。月経をいふ月し。

ぬくやぶ

あひまをばしぬがぬをいふ。トよの舟ついでぬきぬきいひハをいふ

○ワレガモレけをリデを死ダナラバ ツキイ人ハ 深美良父ハカワイヤワレユニ

死ニダトハイハズニタハ一をリニ世中ガ無常ナ物デ死ニダヤウニモナレテオクテ

カナアラウガタトヒサワハニナストモ 世間ノ人ハヨウ知テ居バ ニホカ 外ノ事デ

死ニダトハ云イ 君ユニ死ニダトニモフテ君ガ名ハ立ツデアアラウ

君

津のむ乃難波の向し此名もいふ事なき。ぬき人といふや

○難波ノ芦ノハルカニエテ死ニテヒツレリト云ハエテアル如クニシゲイハワレガ

哀ヲ思フハカウトハ知ウカイ コレホドニアラウトハ知マイ 矢もいふといへ

るいふんはしちもろろなるものも。芦の芽又生れぬがぬきハナシ。

よもぬきで月日へかろもろろまろあきあしよるハアを福く見ぬ

○弓ヲ久シウ手モサヘズニオクヤウニ 思ウ人ニ久シウアハ子バ 人ノ事バツ

カリ思ウテ 飛ハ子タリオキタリニテ ヨノメモサ 子ラレヌワイノ

人ふもぬおもひのそそろびく終るが歎きをばしぬのそそる

○思ウ人ニ知ラレヌ思ホドサナギナユツタ物ハナイ けワレガ歎クノヲバ

ワレバツカリガサ 知テ井テ ソノ思フ人ハ子カラレヌチヤ

そこのこと

あふ出ていふぬむくりぞみせ何あふふぬいてあしきおと

○ワレガ恋ハキウドのなぬ川ノウババ水ノナイヤウニエエテ 下ノカラ
 ふがトホツテ流レルヤウチモノデ 河ニダシテイハヌト云バカリヂヤゾイ 心ハ
 ジャウチウスフ人ノ心へ透ウテ恋レイモノヲ

みはら

恋成のこ思ひ縁より縁より多ねばこがんくくこつるおりら
 ○オハノバツカリヲ思ウテ寐テ思ヌヌナバ おウト思タノモ オハノ
 ナサケデハナイ ワレガ心カラ思タノヂヤワイ

こがみ

心のちふもよきりてきくく何の物をもてぬまのさむりら
 ○イノチホドヲレイ物ハナイヂヤガ ツレヨリニダ惜ウ思ハレルモノハ 恋イ人

ニおウト思ル羨ノニダトクト思テハヌウチニ早ウサヌノヂヤワイ

なぬらら乃ほらき

梓弓もまばな末こぐくふようこまきつれ恋のらぬら
 ○昼ヨリモ 上 恋ガサカベツニ恋じウ思ハハニサルワイ

こつれ

こがこひわゆくへんこつれをてもあし何あまうだりと思おひりぞ
 ○ワレガ恋ハ 夕トヘテイハハるライクニ ドコヘイクフヤラサキモシレズ ドコニデ
 ト云限リモナイヤウチモノデ ドウナルフヤラ子カラサキノシレヌフデヌバ
 ウノライキトミリト思ウバカリヂヤ

月鏡のこぞかきくるとけるを星をこ何びてこきりしけりぞ

後ふぬ乃そわゆりきふよみくはうりてあ

在糸業よお終也

おきもせむも祓もきでらるは明してはまのおきておがめらりしつ

○オキルデモナシ子ルデモナシニウツラクトシテ兼ヲアカシテハ 又昼ニナバハ

ゴロノ定ヤウニ長ぬハ喜ノ物デ一日ナガメテシキニ思ウテクラスヂヤ

なりむらね終長ねあうり終らる女ねりやふよみそ

つうりてあ終

はらぬのねがめふまらるる 後川 神のまゆりてあふよとほし

○ウチツツイテヨリハワルシ 日ハ長シ ヒミデサビシイニツケテハ イヨクシキキデ

ナガメラシテ 後ノ川ノあがミシテ 袖がヌルバツカリデ ソシテ川ノあがミセバ

後ラレヌヤウニ 逢ハレサウナモヨウモナイ

かの女ふりりてかへふよめ ねらむらね終

後とてそ神もむづろ免後河才まへあぐるときくばしものまむ

○袖がヌレルトオツシヤルガ ソレヤオニヘノ 後川ガ後サニササウテアラフ 袖

バツカリヌレルグラ井ノ後イコデハ ねニナリニセヌ 身ニデガ流レルトオツシヤ

ルクラ井ノ後川ノ後サナラ ソレハねニニ終ニセウ

餘材キヤエの匂の説まらる。オまへあぐるまはくは神のまむ

づふむらへ。後きこはつものまむらへ。まむらへ。

歌一らむ

よふまを神はらるまをくへむそつとんを君が親くねりあき

○近ウヨルテスチガナサニ 身コソカウニテ遠ウヘダテ居レ 心ハヤウヂウオ

ニハノソバヲハナレセヌ 頼ヤウニトウカラ心ハオニソフテ居ル

飯材ヲ友ハトるといふことよるべしといひたりといふハむがこし

さうこそねし引るる葉は女のべも可れさねとんは海とさし

つづいふゆきてハ葉なる物ゆゑふえまうほしふいぶさつ

○行テハムダニカツテクルモノクセニ 色タイト思ウ心ニサソハレテハ 又シテモ

イキ又シテモイキスルワイ ドウ云テモトカク色タサニサ

あそぬ物乃ぬるふ名とけむとねバあまへともふまぬべき物さ

○吾ノツモルヤウニ色ヌ夜ガイクヨモノツモツタナラ とも吾ノキエルヤウニ

ワシニデガ共ニ消ルデアラウト思ハレルモノヲサテモアハレヌコカチ

此のあはわると人のいさへ橋本人まらうがえおり

たうとひらのね

秋のせりし條分一りさの種らりもつぎにじよぎむぢまうさわ

○秋ノ野デ毎中ヲ分テトホツテキタ物ノ袖ハキツウ夢デヌレルモノチヤガ

ソレヨリモ夢ス人ハイテエアズニモツテキタ夜ガサナホキツウ海テ袖ガヌレルワイ

小笠小町

みる見ぬきとぬさげうらうとつらねばやかきねでうらねわいさあく

○海松メノ香イ浦ヂヤトエララズニ 海士ガミルヲサウト思フテヒタモノ

オシヤウニ アノ人ハワシガ身ヲドウモ色シヌ身チヤトハ 知ラシヤラヌ

カシテ一巻モカサズニ 足ノルイニ毎夜く色ウト思フテ足エル トテモ

アハレハセヌノニサ
ハ素かろておきどつていすむるおのゆりつといつたおきて河を下上お
打入してんおべき格し。お方をみるめおき浦とさうおをやと
いふことし。みるおき浦といふおがこまおをいふことし。浦とさう
おをさふとわら河のこし。さうおを恨むことし。いひ
くをさうおわらば。さうお後より。さうおさうとさうおさう
と。此おの河よりさうおのゆり。

源宗干 船長

あまがらしてありひおきおはさうお日乃長くや人をつじと思ひ

○今夜ハゼヒトモドウアツテモトおラヌニ 又トウくエアハズニアカスヂヤサウナ

今夜アハイデハモウおウベキ時第ハナイニ けトホリテエアハズニ夜がアケ
タナラ 春ノけ日ノ長イノニ じんキニおヒクラレテ イツニデモツライ人ヤク
トおウテ一生ヲタテルデカナアラウ

みおのこやみ糸

看ぬるほもねくそいふさうりおむかりうねものハナウ

○二ハカタサト曉ニ別レタ時ニ みるめノ月ヲ見タレバ じんキリアハレヲモヨホレテ
ア、アノ月ハ夜ノアケルノモシラヌカホテ アノヤウニチツトユリトヒテアルニ
オレハ夜がアチレバカヘラ子バナラヌトテ ノコリタイトコロヲ別レルカヤ
ト オノシレミぐトおハレタガ とき時カラレテ ヨニ曉ホドウィツライモノハ
ナイヤウニおフ 飯材上をさうおさうとせうとせうハ、おは

入るうらふおつめ。むづかしく。碓氷のぬく。をてふまゝ。こゝろを
らふ入る。ふと。あつて。ほろ。こゝろ。此集ふ。りりて。ほろ。

あつて。ほろ。こゝろ。

あつて。ほろ。こゝろ。よる。ほろ。こゝろ。よる。ほろ。こゝろ。

○浦ノ磯。バタヘヨツテクル浪ノチキニ引テ沖方カハルヤウニ。逢。り。モナイ
人ノ取ヘイクワレバ。イツデモソノ人ヲ恨ニデバツカリサカルワイ

さ。さ。人。こゝろ。

か。ひ。て。よ。る。風。ふ。ら。れ。ど。り。波。あ。つ。て。あ。つ。て。ほ。ろ。こ。ゝ。ろ。

○ニダ。逢。り。モナイ。サキカラ。早ウ名ノタツノハ。云テ。足。ヤウナラ。浪ハ。風ガ

フクニヨツテ。タツモノ。チヤニ。ニダ。風ノ。フカヌ。サキニ。ニカ。タカラ。ナギニ。浪ノ。立

ヤウナ。地カ。ニラヌ。ナゼ。ニ。ヤウニ。ニダ。早ウ。カラ。名ノ。タツノ。ヤラ

こゝろ。こゝろ。

み。ち。は。く。ふ。り。り。と。し。お。つ。め。名。取。川。な。れ。名。そ。り。て。バ。ツ。り。り。と。

○上。ナイ。コ。ヲ。云。タテ。名。ヲ。タテ。ラ。テ。ハ。メイ。ウ。ク。ナ。コ。ト。チヤ。ワイ

み。ち。は。く。あ。つ。て。け

ら。や。ま。つ。て。ま。づ。だ。れ。あ。つ。て。名。取。三。回。河。ら。ら。ら。と。や。る。じ。お。つ。め。こ。ゝ。ろ。

○ニダ。早ウ。カラ。ケ。ヤウニ。名ノ。タツハ。ワケ。ノ。タ。ヌ。コ。ト。チヤ。ト。テ。モ。カ。ウ。名ガ。タツ。メ

カラ。ニハ。ド。ウ。レ。テ。ナ。リ。凡。あ。つ。て。ス。ニ。オ。カ。ウ。モ。ノ。テ。ハ。ナイ

あ。つ。て。け

人。と。し。り。り。と。お。つ。め。名。取。川。な。れ。名。そ。り。て。バ。ツ。り。り。と。

○人ハドいアルカワレハナイヲ云ヒタテラレル名ガ惜ケレバ 三方モ今ヲモ
ソチナフハシリセヌト云ウ

よみ人あつど

あつどぬふ又もなまきるささちぬべし人かくかりぬよふしを海へを

○ニハカタモナイヲ云ヒタテラヒテナイワラシタフガアツタガ ソレニコリモセズニ 又ドウヤ
ラ名ヲタテラレウヤウニ思ハレル 世中ノナラヒテ ^五ニラウナイ人ガアルテサ

むむうしは五條もさうりお人をさうりかきてまのりさひ
つらしきのびあふあふとくれむかどさうりしとえいつで
かきけらぐささうりかよひうさびくさおひりうさ
わさどきうつまてうねさよふ人をあきまうと

らささバいさくれどえつでのもかつりてよこてや

こらぬ なるさひくねおた

人しとぬさうよひぢらぬ雲ちハよひくさふうちも縁うし

○人ニシラサヌオレカ毎ヒミチノ雲取ノ番ハ ドウゾ毎夜ヨヒクニ 子ヨツト
ナリト子ムツテクレカシ ソレタラソノるニハイラウニ

影さうらど けうゆれ

あぶさぢをさしき時ちあしむまは心より月けいでくアそら

○ズイフシカクシレブケレバ キツウ喜イ時ニハ エコラヘズニ 月ガ出テヨウ
又エルノニけヤウニ出テサクルワイ 又三四のうハく出でのさすの

さささささ

やとのこまうはまきまのこまをぬくぞのこま

夜京國路終た

あきなると今ハのむほくくふなごつひも思ひそわらじ

○夜ガアケタト云テ サアモウ別レルダヤトモフ心ガツラカラニテ ナゼニハヤ

ウニイフニハヒ又思ヒガソウフチヤヤラ

空をまぬきまのふゆきまの空

あきなると加つさよふいふれまきてあまもゆりそわらじつ

○ハヤウニぬツヨウフルニ 花ガぬタト云テ 別レルルデハ 涙モ雨ト同シヤウニ物ヲコ

キオロスヤウニヒタクト為テイヨクヒツマリトヌレテ サテモイカナイナニギナフカナ

路ーらご

空

ふの免れこうも波、まゝぬぞまげもよりまにぬきまをぬめつる

○目ガサメテ別レルガホリヲレサニ 鶏ヨリサキヘワシガサマツ泣キハジメタ

よみ人まらげ

郭云ゆえうつうつ何さあ乃おきてあまうあうまはれん

○三 オキテ別レタ曉ニ今鳴タ郭云声ハ 坐テモ羨チヤカウツ、チヤカ

オボエヌ 心ガ乱レテアルニヨツテサ 打関よらーよらららー

あうらぎ何争バ君ガ名くらぬべと華涼くらう波人んむむと

○一 花ガぬテカラカヘツタナラ 人がんテ君ガ名ガタウトモフテ、夜ノ

涼イウチニあレテキタガ ソレデモモシ人がんハセオシダカレヌ

大に千里

くさくさとおきりひうくもくさくざりつあひ物もどきえてくねーき

○ケサハ^{おと}ア 別^{カキ}レニ心ガ乱レテ ドウレテ記^{カキ}テキタヤラ子カラオボエナニガガ ころのヲ

思ヒガレテ今ヲサキエルヤウニカナレイ 打^{ウチ}ノ日^ヒノ説^{セツ}キ^キの流^{リウ}わ^ワい^イど^ドさま^{サマ}ハ^ハわ^ワい^イど^ド

ふふふておふふふてきりく。 ちのり^{チノリ}の^ノね^ネの^ノね^ネ

福ぬる東^{トウ}北^{キョク}を^ヲか^カあ^アと^トま^マど^ドめ^メバ^バい^イや^ヤを^ヲね^ネお^オな^ナり^リほ^ホさ^サる^ルか^カる

○ユベ^子を^ヲテ^テ麻^マタ^タノ^ノハ^ハ ドウ^ドデ^デア^アツ^ツタ^タヤ^ヤラ^ラ 羨^{ソウ}ノ^ノヤ^ヤウ^ウデ^デア^アリ^リカ^カナ^ナサ^サニ^ニ セ^セメ^メテ^テハ^ハホ^ホシ^シ

羨^{ソウ}ニ^ニナ^ナリ^リト^トイ^イチ^チド^ドス^スヤ^ヤウ^ウト^トね^ネジ^ジテ 眠^{ネム}ツ^ツテ^テミ^ミレ^レド^ド子^コラ^ラレ^レモ^モ致^シサ^サバ 羨^{ソウ}ニ^ニ

ヘ^ヘエ^エニ^ニイ^イデ^デ サ^サテ^テモ^モク^クイ^イヨ^ヨク^クハ^ハカ^カナ^ナイ^イコ^コニ^ニナ^ナリ^リニ^ニス^スル^ルコ^コナ^ナ

業^ノお^オね^ネた^タの^ノい^イせ^セね^ネあ^アり^リ へ^ヘう^ウり^リと^トと^トと^トの^ノ時^{トキ}を^ヲあ^アり

く^クる^ル人^{ヒト}い^イと^トみ^ミそ^ソう^ウふ^フあ^アひ^ヒく^ク又^{マタ}の^ノあ^アく^クと^トふ^フ人^{ヒト}や^ヤあ^アと^ト

べ^ベき^キて^テあ^アひ^ヒき^キり^リき^キる^ルあ^アひ^ヒぶ^ブに^ニ女^メ乃^ノも^モあ^アい^イり^リお^オこ^コせ

い^イぬ^ヌと^トき^キる

よ^ヨみ^ミ人^{ヒト}と^トあ^アら^ラむ

あ^アや^ヤこ^コー^ーあ^アや^ヤゆ^ユき^キと^トあ^アや^ヤお^オむ^ムり^リい^イど^ド羨^{ソウ}く^クう^ウつ^ツく^ク福^{フク}て^テう^ウさ^サえ^エて^テの

○ユ^ユベ^ベく^クの^ノハ^ハオ^オハ^ハカ^カワ^ワレ^レガ^ガカ^カハ^ハは^ハ出^デサ^サツ^ツタ^タデ^デア^アツ^ツタ^タヤ^ヤラ^ラ ワ^ワレ^レガ^ガオ^オハ^ハカ^カハ^ハも^モツ^ツタ^タデ^デ

ア^アツ^ツタ^タラ^ラ 又^{マタ}羨^{ソウ}テ^テア^アツ^ツタ^タカ^カホ^ホニ^ニノ^ノ子^コデ^デア^アツ^ツタ^タカ^カ 眠^{ネム}タ^タ内^{ナイ}テ^テア^アツ^ツタ^タカ^カ 自^ジノ^ノサ^サニ^ニ居^イル^ルウ

チ^チノ^ノコ^コデ^デア^アツ^ツタ^タカ^カ ド^ドウ^ウデ^デア^アツ^ツタ^タラ^ラワ^ワレ^レヤ^ヤ子^コエ^エカ^カラ^ラ見^ミエ^エセ^セヌ 又^{マタ}オ^オハ^ハド^ドウ^ウデ^デヤ^ヤイ^イナ

う^ウへ^ヘー

ち^チの^ノり^リの^ノね^ネの^ノね^ネ

か^カき^キく^クの^ノい^イん^ン乃^ノや^ヤふ^フま^マど^ドい^イみ^ミに^ニ羨^{ソウ}う^ウつ^ツと^トハ^ハ母^{ハハ}人^{ヒト}と^トう^ウど^ドあ^アよ

○サイ^{サイ}ナ^ナユ^ユウ^ウノ^ノハ^ハ イ^イツ^ツソ^ソ心^{シン}ガ^ガク^クラ^ラガ^ガツ^ツテ^テ書^{カキ}ノ^ノ衆^{シュウ}ニ^ニ居^イク^クヤ^ヤウ^ウデ^デ ド^ドウ^ウデ^デア^アツ^ツタ^タヤ^ヤラ

ワ^ワレ^レモ^モサ^サ一^{イチ}向^{ムカ}オ^オボ^ボエ^エセ^セヌ 羨^{ソウ}テ^テア^アツ^ツタ^タホ^ホニ^ニテ^テア^アツ^ツタ^タト^ト云^{イハ}フ^フハ^ハ世^セ居^イル^ルノ^ノ人^{ヒト}定^サメ^メテ^テク^クレ^レイ

歌々うらむ

よみ人ーらげ

うむまはやまはうつハハらどうねるまにひらくもまきくざりらと

○^{ウツ}イノニチヨツトまきタノハホニノりデモタシカナまニ何ホドモツツタ

コトハナイワイ 羨ニえタト曰レクラ井ノコデアツタ

まよぬまてつるねくほる月影イ何れども君はまをえつゝかま

○^上君ニまてサテモくマアノコリオホカツタツカナ

ニのうのまハの、得よて上りわりむね序まべーる葉おゆまー

君がふもくがふもくめてドおふもあまみりもいおあけいまきいば

○ドウゾオノ名モワレガ名モタヌヤウニセウ ^三ワレニまきタトオモイハレヤルナ

ワレモオニまきタト云ノイホトニ あひまハ難波の縁ふ網川おひいよをまき

名取川せむけのもしおつらふまいふとむとくひんをまきむ

○^二世君へレレテ名がタツタラドウセウトおフテ色ソメタツヤラ

よー世川あはれむとまやくとと勝のきりつとそドそぞ思ふ

○吉世川ノまろイヤウニ心ハヤセナウラハ勝ヤウニまニハタテイトサワロヤ思フ

まーくハまきふを思へむくまにのねりね衣色おつがをゆえん

○まきウウナラ心内デモツ居タカヨイゾ ^{三四}色ニがステハナイゾカナラズく ^{ゆえ}

まのくまあうせ

花さく泥やふおてしひばるを惜み下ゆおむとのむまがくまはら

○アラヒテおフタナラ名がタツデアアラウトソレガヨレサニ ^四心内デバツカリ思ウデムレヤ ^五

クヤトレテサテモく昔イイまラスルツガヤ 打突下ゆお紐の流俗くわ

ふらぶらのきよにが志のびりいひ志よりくる女のもく
らりおこせしりらるる よき人しりらるる

思ふぞらむりくがこひ志をばしむしおよき人くぬぢ夜きき

○カウ思ヒアツドウレノ内ニオヘカワレカドチラゾ一人が若ヒヨット志死ニダナラ

服ヲ着ヤウナレド 表ハレタ夫婦デナケレバ 服ハキニクイヂヤガ 親類ノ内ニ

誰レガ死ニダニヨツテキルト云テ 服ハキタモノデアラウゾ

餘材むりくきおぬるからゆるはらりしおはよるしとてむ

アひとりといわち皆 後ふらぢららむりといふことし

うへー

ふらぶらきよに

おきつゝる候し 袖はそぢぢぬぎうへがてうらるるをハきき

○ナルホドソナ物ヂヤ モレワレモソナタデモ トチラゾ志死ニダハ カナシウ
テ泣テ息々ウ候デ 定テ袖ガキツウヌレデアラウ ソレヲヌシタヌギカ
ガテラニ 夜サ 服ヲ着ヤウワサテ 夜ハライカウタレモ 知ルマイホドニ

おーいんじ

あまら

うつゝるさうとアそつめとあふさへんめはむるとるがらびりさ

○ホニニハサウモアリソナ物ヂヤガ 羨ニテ人目ヲハカルヤウニスルヲノナギサライノ

かぢりねきおひのやうおよほもこしび多路をさへ小人ちらおん

○カギリモナイホドウフけ心ニカセテセメテ羨ニナリ成セイダシテ行テをウ

ホニニニ毎フハカズツク 羨ニ毎ウ道ニテヲ人ハストガメハスイホドニ

よるとハ羨おぢりさとのことし下お夢路といふお何をうてよると

はつたり。こむちゆうむのまじ。此例つてふあり。

羨路うらわいもやそめども海へぞとこつこつめえいこわい

○羨ニハ足モヤズニ毎夜セイダテ海ウテそく^アトスルケレモ ソレデモ

イツゾヤチツトホニニ夜々ヤウニハナイ ア、羨ハヤクニタヌモノヂヤ

よみ人こころ

思へども人をほく^ほとれ^ほとら^ほ控^ほバ川と見ながくえ^ほと^ほほ^ほと^ほ

○忘^ニヒウ息フヲ足テハ ア、アレハト思ヒナガラモ 人メヲツム心ガイツイヤヤヨ

ツテ^五ドウモヨウサアハヌワイ 四の句かどハといふこと川小つひをせり

海つ瀬乃^ニアに心をねふ^ニか^ニと^ニ人^ニを^ニつ^ニら^ニね^ニら^ニむ^ニむ^ニ

○早イ川瀬ノヤウニヤルセモノウもウ心ヂヤモノヲ ドウ云フデア 堤^ニテ川ノ

水ヲセキトメルヤウニ 人目ヲツ、ニデハヤウニコラへ忍ニテクルレイマスルコヤラ

完^ニハ^ニ時^ニき^ニの^ニま^ニち^ニを^ニね^ニき^ニ き^ニね^ニら^ニと^ニの^ニり^ニ

ら^ニと^ニね^ニの^ニね^ニも^ニハ^ニい^ニで^ニど^ニか^ニら^ニと^ニね^ニの^ニま^ニも^ニお^ニも^ニひ^ニて^ニこ^ニし^ニら^ニと^ニね^ニら^ニと^ニ

○三^四ハヤウニ内^ニデバツカリも^ニ居^ニテ^ニタ^ニト^ニヒ^ニ死^ニス^ニト^ニ云^ニテ^ニモ^ニ 一^ニ色^ニニ^ニハ^ニダ^ニス^ニト^ニイ^ニ

餘材^ニチ^ニ共^ニふ^ニ下^ニお^ニも^ニひ^ニて^ニも^ニぶ^ニが^ニひ^ニの^ニ心^ニとい^ニつ^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニう^ニも^ニひ^ニと^ニ

ハ^ニら^ニら^ニぬ^ニの^ニ縁^ニの^ニ相^ニあ^ニつ^ニて^ニい^ニつ^ニの^ニま^ニあ^ニつ^ニて^ニあ^ニれ^ニき^ニば^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニ下^ニお^ニも^ニひ^ニと^ニ

類^ニこ^ニら^ニぬ^ニ みる^ニね^ニ

その他^ニい^ニま^ニむ^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニ下^ニお^ニも^ニひ^ニと^ニこ^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニそ^ニこ^ニお^ニも^ニひ^ニと^ニ人^ニよ^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニ

○上^ニを^ニね^ニノ^ニ家^ニヘ^ニワ^ニシ^ニガ^ニ毎^ニウ^ニト^ニ云^ニフ^ニラ^ニ人^ニニ^ニシ^ニラ^ニス^ニテ^ニハ^ニナイ^ニツ

餘材^ニつ^ニも^ニな^ニく^ニの^ニほ^ニら^ニら^ニぬ^ニく^ニ上^ニの^ニハ^ニ序^ニあ^ニつ^ニて^ニ四^ニの^ニ句^ニね^ニそ^ニこ^ニハ^ニ序^ニよ^ニ

夏底とつきとら。つとらなづくハカの下海海ふあふ上へハととん
えぬよりしげ何ハ帝の人のものゝふて。あはまよハあづらとぞ。
らくはあめおくゆあお乃東をきみまはははくくも色おいでめや
○ 笹ノ葉ヘフタあが東ノ葉サニシツクヤウニ ワシガあ心モニシツクヤウニハ
呂ウト云テモ 色ニダサウカイ ドノヤウニアツテモ色ニダスコデハナイ

よみ人しうげ

ふーお乃きぬのふけきおふ人のあるべくくまぐらひ先くと

○ ナンボ急シウ呂ウトテモ 一ニ きニモ人ノシルヤウナフリヲセウカニ
ソノキツカヒナイゾイナ

此のうら人あふとゆうねへのとねんやん

きよのうらあやが

みつーの流とむるまをきとぐらとみよめの浦あふらばとやて

○ 一 るがと 昼ノ間ガ色ガタサニ 四 夜ヲサワニ待ワイ

平、貞文

白川乃きくびもいとど唐傳とねがとてとくふまあむと忍へバ
○ 人が問フタラ 一 シラヌトモイハウナレドサウハ云ニイ オレヤ^三あま心底
チヤカラハ イツ^四デモ末長ウツレソハウトマラ料^五答ナレバサ スレヤソノヤウ
ニナニモ人ニカクスコデハナイワサテ

あまのうら

あまのうらあまのうらあまのうらあまのうらあまのうらあまのうらあまのうら

○ナイセウデバツカリワテ居バキウウジツナイニモウワレモイツソウチダシテ

ニダレウソシタラ人目ニカルデアラウガ必タレモトガテ下サルヤ

疾急をまのびうめてバわりの心もちりるは色おぬぼ

○ワレがけ也ヒラ今ニデハアドウヤラカウヤラ思ビカクシテ居ルガコレカラモウトウモ

コタレヌヤウニタナラバ三四色ニデ一人目ニモカルヤウニテアラウト思ハレル

与一人一らび

ちりハ疾急もみまをくらぬ出るむゆみべふみめさくし

○破バハ海松メガスクナサニ舟ヲ湊カラ沖ヘズットコギ出シテ疾急ニニ

ルメヲサリヤウニワレガ中モ大ガイナナラモウ名ノタツツラカハズニ世

ヘバツトウチ出シテハウ隠シ也ブ中ハ也ウヤウニ成クモアハヌガイカニシテ

モウイコトヂヤホドニ船材あまよとくみの流るるハ男女の

中びつてふて也中まうくもふはし又船材船の名のこと用はし

おのゑ文

松より又一人もぬき急を海きれあへどりしつうら

○ワレが急ヲバ松ハトウカラモ知テ井タノモアラウガ松ヨリ外ニハ又ト

知人モナカツタニ後ヲドウモエセキトメイテツイトリハツシテモラシ

テノケタワイサテモくツライコラシタコナ

よみ人あつむ

風ぬまはらうつ春の松あれや糸ふわうしてぬきぬべし

○風が吹テ浪ノウチヨセル岸ノ松ハ根ガ堅レル物チヤガワレが急モソナ

モノカシテ ドウヤラ子ニアラハレテ泣キサウニ思ハル、ドウモコタヘラレチバサ

カウ云々ガカリデハサエニイガ 声ヲアゲテ泣クコトヲ哥デハ子ニ歌レルト云ニヨウテサ

此多ハある人の事、かきおとせその人おぼろがし

池ノ水ハあまのこゝろをたぬ川邊にたつとくをれど歌きおろし

○池ニ住デアル駕ノ底ヘカクレルト思ヘド 水が浅サニアラハレテスエルヤウニ

ワレガ多モ ウキ名ノタツヲ惜ウ思テ 処ガトカクシレノバヤウニスルケド

セヒモナイコハ 人が知タワイ

あふこゝハ水をはり名はしめつと吉野の川乃流つをたむ

○玉ヲツナグ緒ハズンド細イヒヨワイ ツツカナ物チヤガ ワレガ中モ 逢フハ

テウドソノ玉ノ結グラ井ノワヅカナコトデ ソレテ名ノタツコハ 吉野川ノ流ノ

音ノミイクラ井デ ソレクヤカシイコトチヤワイノ

しるもはしわちふし、歌名今わらふと歌ふもはし(き)つらや

○一 一タビ立ツタ名ハ モウドウモセヒガナイ 今サラワレヤソニナヌハナ

イト云ヒワチシタトテモ ヤクニタ、ウカイ ナラヤクニタ、ヌコチヤ

コトウコノ魚チヤウハ、飯村コトウ。

君ユエニワレガウキ名ハテウドヤ山ノ花ニ、履ガイチメシニタツヤウニ

○君ユエニワレガウキ名ハテウドヤ山ノ花ニ、履ガイチメシニタツヤウニ

ドコカラドコニデ知ラヌ人モナイヤウニナツタワイナ 花ニ履ノタツハツラ

イモノチヤガ ウキ名ノ立タモ同シコトサテモツライコトチヤ

花おとつゝこの説飯村チヤウとふら。

伊勢

うらといへば物ぶふきで祓く物をらるる好くぬ名はえふまじ

○ナニボカクスゑデモ松ハヨウ知ルト云フギヤニヨツテワレヤ松サヘセズニ

寐^子タモノヲ誰^レガニア知テウキ名ガバツト云ウ立タ^レギヤヤラ

塵^レコソ^レニ^レハバツトタツ物ナレ塵^レデモナイウキ名ガサ^レア

やうなやぐえはねのほ

